

「いわて老連だより」号外第 46号:東日本大震災情報

平成23年9月16日

- **兵庫県老人クラブ連合会主催の「兵庫県高齢者の集い」で大船渡市老連中村会長が東日本大震災被災報告を行い、参加者から激励と“立ち上がろう岩手”への拍手が止まなかった。**

去る、9月13日（火）兵庫県公館で開催された兵庫県老人クラブ連合会・のじぎくクラブ兵庫主催の「兵庫県高齢者の集い」に招かれ岩手県から2名参加した。

第2部で東日本大震災被災地からの報告と題して、大船渡市老人クラブ連合会中村中（あたる）会長が被災後の経過と連合会の再建などを報告した。東日本大震災では中村会長の自宅も流失し、大船渡市で死者337人、行方不明者114人、家屋倒壊数3,629棟（9月1日現在）のうち老人クラブ会員は死者25人、行方不明者11人、家屋倒壊数343棟である。現在も赤崎地区は調査中で被害状況が増えるものと思われる。

震災で危ぶまれた定期総会は、6月17日（金）に「シーバル大船渡」で開催された。「よみがえれ大船渡！力を合わせて復興へ」メインテーマと本年の基本方針、重点目標及び事業推進計画等承認された。また、岩手への救援拠金、救援物資等の支援への感謝を申し上げ、盛んな拍手で終了した。事務局からも私が（野辺地次長）同行して参加者に紹介され、この度の震災に係る支援に感謝して今後もよろしく願いした。

帰路は全老連（東京都）に立ち寄り、被災報告と兵庫県老連の報告を済ませて、中村会長とは新幹線花巻駅で別れた。中村会長には「ご苦労様でした」と感謝の気持ちです。

- ・ ・ 兵庫県老連のご発展と老人クラブ会員のご健康をお祈り申し上げます。 ・ ・ ・



被災報告・中村大船渡市老人クラブ連合会長



サークル活動発表「フラダンス」宝塚市老連

- **兵庫県老人クラブ連合会から救援物品手づくり「座布団」100枚が贈られてきた。**

「兵庫県の高齢者の集い」で招かれた際に、県老連事務局に立ち寄ったところ、手づくりの「座布団」を救援物品として準備しておりました。

早速、被災地大船渡市老連事務局に座布団100枚が届きました。事務局では支部を通して仮設住宅の入居者に配布する予定です。兵庫県老人クラブ連合会・のじぎくクラブ・女性部会員のみなさん有難うございます。感謝申し上げます。（野辺地記）